

ありおか通信



令和7年9月2日

校長 廣重 久美子

6年生を対象に、令和7年4月17日（木）に行われた「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果等をお知らせいたします。なおこの調査で測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一つの側面です。

1 調査事項

（1）学力に関する調査〔国語・算数・理科〕※それぞれ45分

- ①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等にかかわる内容

※上記①と②を一体的に問う

（2）学習状況に関する調査（児童質問紙）

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するもの。児童が活用するICT端末を用いたオンラインによる回答方式で実施

2. 調査結果について

（1）学力に関する調査結果について

- ・国語、算数の正答率に関しては、いずれも全国平均、兵庫県平均を上回る結果
- ・理科については、全国平均、兵庫県平均とおおよそ同等の結果

国語

○情報の関係づけの仕方や、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめることについては成果が見られました。

●自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉えたり、段落相互の関係に注意して文章の構成を考えたりすることには課題がみられました。

算数

○示された資料から必要な情報を選び数量の関係を式に表して計算することや、伴って変わる二つの数量の関係に着目し必要な数量を見いだすことについては成果が見られました。

●基準量と比較量、割合の関係（例：10%増量の意味や、増量後の量・増量前の量の関係など）を正しく捉えることに課題が見られました。

理科

○土への水のしみこみ方の違いについて条件を元に結果を予想して表現したり、その理由を適切に表現したりすることには成果が見られました。

- 電磁石の強さは、電流の巻数によって変わるといった知識や顕微鏡の操作の技能に課題があることがわかりました。

(2) 学習状況に関する調査結果について

- 生活習慣に関することの「朝食を毎日食べている」については肯定的回答が 100% 近くあり、朝食の摂取が習慣化している状況が見られました。
- 「毎日同じくらいの時刻に寝ている」については、7割程度であり、課題が見られました。
- 「自分にはよいところがあると思う」「将来の夢や目標を持っている」については、8割弱の児童が肯定的な回答をしています。
- 「学校に行くことが楽しい」については肯定的な回答が7割程度であり、比較的低い数値と捉えています。
- 「普段の生活の中で幸せな気持ちになることはあるか」という質問に対しては、9割を超える児童が肯定的な回答をしており、日々の生活の中で幸福感を感じながら過ごすことができていることがわかります。「人の役に立つ人間になりたいと思う」という質問にも9割を超える児童が肯定的な回答をしており、人と良い関わりを望み、人と支え合って生きていくことに前向きな姿が見えます。
- 学習面では、家庭学習の時間を確保できている児童が多く、家庭での学習習慣が定着していることがうかがえます。
- 一日あたり読書を 30 分以上する児童は4割弱という結果が見えました。

<今後の取組について>

国語

引き続き、目的や意図に応じて日常生活の中から話題を決めて伝え合うなどの指導の充実に取り組んでいきます。また、児童が互いに書いた文章を読み合ってアドバイスし合うなどの場面を設定して自分の考えが伝わる書き表し方を工夫する指導の充実に努めていきます。

算数

基準量と比較量、割合の関係を正しく捉えるために、言葉や図、式を関連付けながら数量の関係を考察できるような授業づくりを行っていきます。

理科

観察、実験の結果や結論を、図に整理したり、言葉で説明したりするなど、知識と関係づけて理解を深めることに取り組んでいきます。

また、どの児童にも「自己肯定感」が育つよう、学級活動、日々の授業、学校朝礼など、すべての教育活動を通じて、相手の立場に立って物事を考え、実践できる子どもの育成を図っていきます。

子どもたちが心豊かに成長できるよう、学校で取り組んでまいりまので、ご家庭におかれましてもご協力をお願いいたします。